

第41回

置賜建設株式会社安全大会

平成29年 7月 1日

☆ 平成29年度 スローガン

(厚労省平成29年度全国安全週間スローガンより)

『組織で進める安全管理 みんなで取り組む安全活動 未来へつなげよう安全文化』

※ 全国安全週間は、昭和3年に初めて実施されて以来、「人命尊重」という崇高な基本理念の下、「産業界での自主的な労働災害防止活動を推進し、広く一般の安全意識の高揚と安全活動の定着を図ること」を目的に、一度の中断されることなく続けられ、今年で90回目を迎える。

この間、事業場では、労使が協調して労働災害防止対策が展開されてきた。この努力により労働災害は長期的に減少し、平成28年度の労働災害については、死亡災害は2年連続で1,000人を下回る見込みである。しかしながら、休業4日以上死傷災害（以下単に「死傷災害」という。）は前年より増加する見込みで、死亡災害についても平成28年11月から平成29年2月まで4か月連続で前年同月を上回っている状況である。これらの要因としては、基本的な安全管理の取組が労働者に徹底されていないこと、第三次産業においては、多店舗展開企業等の傘下の店舗等に安全担当者がおらず、安全活動が低調となっていることなどが考えられる。

☆ 平成29年度 安全管理目標

- 安全の先取りと一工夫により安全・安心職場をつくり
達成しようゼロ災害

☆ 平成29年度 衛生管理目標

- 健康管理の徹底

☆ 平成29年度 交通安全年間スローガン

(財)全日本交通安全協会平成29年度交通安全年間スローガンより)

- 運転者向け
抱っこより 深い愛情 チャイルドシート
- 歩行者・自転車利用者向け
身につけよう 命のお守り 反射材
- 子供向け
ペダルこぐ 免許はないけど ドライバー

平成29年度 山形県交通安全県民運動実施スローガン

「よく見て 確認 ゆとり行動」

置賜建設株式会社
安全衛生委員会

安全の誓い

現代社会の中にあっては、労働災害防止は当然のことながら職場環境の整備や心の健康の確保と、誰もが仕事と生活の調和が取れた働き方ができる社会や企業が求められています。

これまでは、労使が協調して労働災害防止対策を展開してきた結果、長期的に死亡災害は減少していますが、休業4日以上の死傷災害は前年より増加する見込みで、平成28年11月から平成29年2月まで4か月連続で前年同月を上回っている状況である。これらは要因としては、基本的な安全管理の取組が労働者に徹底されていないこと、第三次産業においては、多店舗展開企業等の傘下の店舗等に安全担当者がおらず、安全活動が低調となっていることなどが考えられる。

このような労働環境の中でも、安全で安心して働くことができる職場を目指し、同じ職場にいる労働者全員で早期に危険要因を発見・改善・見える化し事故の発生を未然に防ぎ、常に健康で快適に働ける職場を目指さなければなりません。

今大会を契機に、次のことを重点実施事項として活動いたします。

- 一、 先取り型の安全管理
- 一、 作業環境の改善
- 一、 不安全行動による災害の防止
- 一、 労働災害回避の一工夫
- 一、 健康管理の徹底
- 一、 毎日の体調管理

以上、健康で安心して働くことのできる快適職場の形成に向けてまい進することを誓います。

平成29年7月1日